

# 二火会たより・22号

日本山岳会 二火会 〒102-0081 千代田区四番町 5-4 TEL03-3261-4433

平成 26 年度も皆様にご協力いただき、なんとか無事に過ごすことができました。天候不順でだいぶ山行が中止になりました。(山はなくならない) なーんて、悠長に構えていると、どんどん年を取ってきて山に行くより先に自分たちの方が、よろよろで歩く力も萎えてしまい、いつの間にか山から遠ざかるようです。

行ける時が行く時と思いますので、みんなで助け合って面白く、楽しく遊びましょう。

平成 27 年 5 月 12 日は総会を予定しております。案内と返信用のハガキが同封されていますので、よくお読みの上、期日までにご返送下さるよう、よろしく願いいたします。

すぐに返信されても結構です。但し、自分自身のお名前の記入は、忘れないように重ねてお願いいたします。

代表 金井一子

## 山行報告

12月の山行・能岳～八重山 (2014年12月17日・水曜日・晴・強風)

■参加者：植村澄江、織田沢美知子、金井一子、清水千枝子、松島岳生、渡部温子、里見清子(係り)7名

今回の計画は上野原駅からの人気コースの一つ、新井行き路線バスの終点で下車、日だまり山行を計画したのに生憎日本列島が寒波に襲われ、動きの遅い低気圧の影響で終日風が強かった。休憩なしでゆっくり歩き、ふと見上げた右手に八重山が見えて能岳は近い。風が吹き抜けてゆく能岳では記念撮影のみ。八重山頂上の東屋で昼飯を予定していたが、下から吹き上げる風には逆らえず前進。沢山のコースがあるが、春蘭コースは、心無い人たちの盗掘で、年ごとに数が減っているという。

水越八重さんが山林を寄付したことが書いてある碑文の石が風よけになるような所に、机と椅子もあったのでここで兎に角昼食にしたが、寒いので短時間に切り上げた。温かい食べ物を作る事を考えていたが、これほどの強風では作る事が出来なかったと思う、予告しなくて良かったと思った。何時もより周りの山々がくっきりと見えていたのは、風のせいだろうか。五感の森の鐘を突き、展望台の下で強風を避けて昼食中の登山者の横をすり抜けて、急な勾配の道を避けて、子供たちの為に整備された登山道を駐車場に下った。

大堀バス停に着いたが、タッチの差でバスがでてしまいタクシーで上野原に戻り風

の中の山行は終わった。

今回風が強いので、秋葉山と根本山を結ぶ上野原遊歩道には回らなかったが、両方の山にも三角点があり、特に根本山の三角点は笹の中に埋もれているため、気が付く人はまずいない。(里見)



能岳



八重山で昼食



八重山から権現山方面を望む

里見清子さん撮影提供

## 1月の山行 隅田川界限散策・浅草寺初詣 (2015年1月13日・火曜日・晴)

■参加者：植村澄江、内田敏子、金井一子、佐藤登代子、佐野加代子、清水千枝子、深田美好、渡部温子、松島岳生(係り)9名

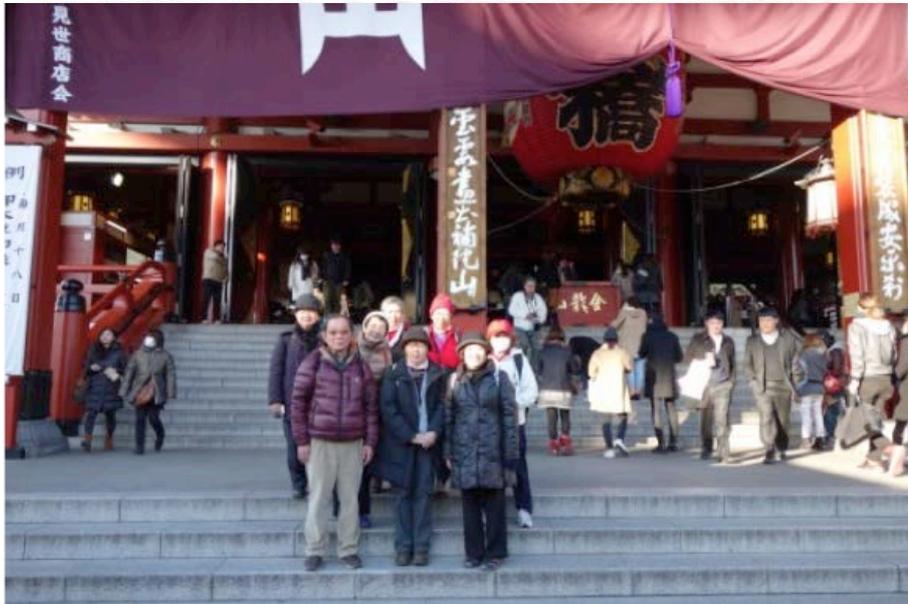
春のうららの隅田川～、にはまだまだ気が早いですが、新年の例会はその隅田川沿いを佃島から浅草まで歩いて浅草寺で初詣をする大川端散策コースを計画。

10時地下鉄月島駅に9人が集合、帰京中の深田さんが久しぶりに参加、新年のご挨拶をして10時半出発、先ずは家康が撰津から勧奨した住吉神社へ参拝。狭い境内だ。

が、磯浜のにおいがするお社だ。隅田川の散策コースに出て右手に旧商船大学の練習船日本丸のマストを見ながら相生橋を渡る。川面を渡る風は冷たいが、東京スカイツリーを正面に見ながらの散策のスタート。しばし左岸を歩くと岩崎さんの残した清澄庭園で、回遊式庭園の一角の日だまりで鴨やユリカモメがのんびり泳ぐ池を眺めながらお昼にする。

芭蕉庵跡のお稲荷さんに行く手前に北の湖部屋があり、二階から何本も長い黒い稽古まわしが干してあってここが相撲町だという雰囲気がある。両国駅界限は大相撲初場所3日目で混雑している。四股名を染めぬいた幟が初春の両国の風にはためきいきに華やかな相撲の世界へと誘われる。タクシーで国技館へ出勤する(?)お相撲さんを目当ての大勢のギャラリーの人垣がすごい。そのそばをかいくぐって迷子にならないように早々に江戸東京博へ、特別展「探検・体験 江戸東京」をざっと見物。

次いで隣の安田庭園をのぞく。ここで思いがけず足がつった方の手当てをして、後少しを残し浅草まで完踏出来ないのは残念だが、ここからタクシーに分乗して一路浅草草を目指すことにする。雷門前で下車、迷子になった場合の集合場所を決めてまだ正月気分でごったがえす仲見世を抜けて浅草寺に参拝する。次なるは新年会の会場だが、目指す神谷バーは何と本日休日。向いの居酒屋チェーン店で新年会とした。(松島)



深田美好さん撮影提供

## 2月の山行 草戸山

(2015年2月11日・水曜日・晴)

■参加者：石光久仁子、植村澄江、内田敏子、里見清子、松島岳生、三井吉由江、渡部温子、川村光子(ゲスト)、染谷美佐子(係り)9名

あたり前のことだけど二火会は毎月火曜日、火曜に決まって用事がある私はなかなか参加できない。今回はラッキーなことに水曜日、久しぶりに参加させていただいた。

前の2日間はこの冬一番の寒い日とかで、日中の気温が5度に達せず震えあがっていたが、幸い当日は陽射しも強く風もなく絶好のハイキング日よりとなった。

10時にJR高尾駅南口に集合(9名)、高尾山は世界一登山者が多いと言われているが、こちらの改札口は反対側なので、閑散としている。バスに乗り館ヶ丘団地に向か

う、終点には団地が何棟か並び、こんな不便なところ（失礼）にもと思ってしまう。登山口はちょっと分かりにくかったが、ルートに入っただけで、踏み跡もしっかりとしていて、迷うことも無い。権現平からは別のルートからの交差もあり、更に鮮明な歩きやすい道となる。ハイカーの往来も時々あり、親しまれているコースらしい。草戸峠へ細かいアップダウンもある、峠からは15分程で、山頂に着く、天気が良いので見晴は申し分なく、町田市や横浜方面のビル、大山、丹沢の山々が展望できた。眼下の城山湖には沢山の車が駐車している、そこからハイカーも多いようだ、広々とした山頂にはテーブルやベンチがいくつもあり、丁度昼時でもあるので、幾組かのハイカーたちが三々五々昼食をしていた。私達も陽だまりのベンチで、リーダーのこころ尽くしの、味噌汁（豆腐、ナメコ、ネギ）をいただく、熱い味噌汁で元気百倍、しばらくランチタイムを楽しんだ。

帰路は一旦、草戸峠まで戻り四辻経由、何度か細かい登り下りを繰り返し高尾山口に着いた。高尾山は手に取るように終始見えていた。短いけど、満足度の高いハイキングの一日だった。リーダーそしてご一緒できたメンバーの方々に多謝！（三井）



渡部温子提供

### 3月の山行 七沢森林公園から白山（2015年3月10日・火曜日・晴）

■参加者：植村澄江、織田沢美知子、金井一子、佐藤登代子、佐野加代子、松島岳生、渡部温子（係り）7名

最近の案内書には、森林セラピーロードコースとして、掲載されていた。蛭の騒ぎがあった後で私は躊躇している。体調不良なので、コース変更を許してもらった。

道端の草花を含めて、春の彩満開。分厚い雨雲があるけど、天気も良好まず安堵。坂東33観音霊場の、飯山観音寺をゆっくり拝観、亀甲松は見逃してしまった。社の裏からスタートするのだが、女坂と男坂があり、皆の足は男坂に向いているのに、男坂？と確認してくるのが心憎い。鹿よけのゲートを通ると、いきなり急坂、薬袋を握りしめ、息がはずまぬようにのろのろと後を追う。白山の頂上を昼食の場所と決定。あと10分・あと5分と頑張っただけで昼食休憩地にたどり着く。白山からの眺めは良い。

無風なので春霞の中。淡い中でも何処そこと確認しあうのも楽しい。昼食の席をゆずってくれた先客に、佐野さんが一品を持ちおすそ分けと称して、お礼を言いに行ってくれた。そんな気遣いがとっても嬉しい。

白山からは、低くなった雨雲に追われるように下山。檻の中を歩いているような変な感じを受ける鹿よけの柵は、巡礼峠の先まで続いていた。

虫は、蝶が一匹・猿1匹・珍しく山繭が落ちていた。花は巡礼峠で、馬酔木と白梅一本だけ。行き合ったハイカーは、脇道で昼食をとっていた4人を含めて10人。帰りは運よく1時間に1本のバスにあまり待つ事もなく乗車、本厚木の駅で解散しました。前月同じ白山を歩かれた松島さんが、終始リードしてくれました。有難かったです。最後の係りになりましたが仲間です。歩いていいなあーです。(渡部)



男坂の登り

物見峠からの下り

織田沢美知子さん撮影提供

メールを使えないので、白山での集合写真掲載する事、出来ませんでした。参加者と撮影者の佐藤さんにお詫び申し上げます。